

三島工場 CSRレポート

事業内容: 乗用車用タイヤ、レーシング用タイヤ、ライト・トラック用タイヤの製造
敷地面積: 112,000m²
従業員数: 918人(2013年4月現在)
所在地: 〒411-0832 静岡県三島市南二日町8番1号
相談・苦情などの受付窓口:
 三島工場業務課 TEL: 055-975-0800 FAX: 055-976-4322



工場長ご挨拶



川田 一夫

三島工場は、静岡県東部の伊豆半島の付け根三島市に位置し、水と緑にあふれた地域にあります。乗用車用タイヤ、ライト・トラック用タイヤを主として生産し、モータースポーツ向けのレーシング用タイヤの製造も行っております。CSR活動は企業活動の根底になる部分であり、当事業所においても「環境経営の推進」「安全健康な職場環境」「製品・サービスの安全と品質」「コーポレートガバナンスとコンプライアンス」「人権・労働慣行」「取引先との信頼関係

「ステークホルダーコミュニケーション」のCSR課題について、それぞれの役割や運用上の具体性をかんがみ、工場方針の主要な課題を「安全」「環境」「品質」「納期・流れ」「コスト」「人材育成」として工場運営に当たっています。

「トップレベルの環境貢献企業」を目指す横浜ゴムの中核工場となるよう、すべてのステークホルダーとの信頼関係を構築できるよう取り組んでまいります。

安全健康な職場環境

労働安全衛生

従業員、協力社員の安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識の下に、安全、健康で快適な職場を実現するための手段として、OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の認証を2010年11月に取得しました。全員参加のもとで3S活動を基本とし、リスクアセスメント活動によるリスクの洗い出しから対策や改善によるリスクの軽減を図り、安全衛生活動を推進しています。

従業員の教育・訓練

従業員への安全教育に関しては、入社時の安全衛生教育に始まり、職制による従業員への1対1教育、ならびに体感訓練を中心に個人の安全感覚に迫る活動を展開しています。

災害時の対応

定例的な防災避難訓練時には、本部を設置し各防災組織に消火訓練や救出訓練を実施し総合的な対応が取れるよう訓練しています。東日本大震災時、またその後に発生した富士宮直下型地震時にも、速やかに全員無事故で避難できました。

また2010年に登録された機能別消防団員が、三島市内で火災発生した際、現地に出動して消防活動を実施しており、2012年度は2回の有事出動がありました。

さらに、2011年1月より災害時物資運搬車両(フォークリフト)を貸与することを三島市と協定を結びました。

環境経営の推進

環境マネジメント

ISO14001環境マネジメントシステムを用い、経営方針に示した「社会に対する公平さと環境との調和を大切に。」を規範とし、環境方針を宣言しています。環境に与える負荷を低減するために、産業廃棄物の削減、温室効果ガス排出量の削減を主要な課題とし、生産工程の改善やエネルギーの無駄をなくす活動に取り組んでいます。その他の取り組みとしては、法規制対応では自主管理値を設け、自主管理値内での運用を行っています。騒音、振動、臭気など感覚公害に該当する取り組みでは、工場周辺にお住まいの住民の中に環境モニターとしてご協力をいただき、年3回の訪問時に状況報告ならびにヒヤリングを行い、改善につなげてきました。

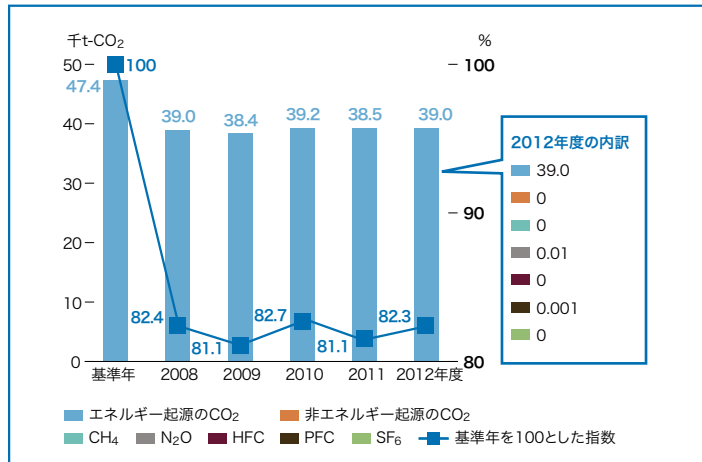
地域コミュニケーションの取り組みの中では、週1度の工場周辺の清掃作業や、三島地区環境保全推進協議会が主催する「三島の川をきれい

にする奉仕作業」「せせらぎルート清掃奉仕作業」「大場川河川敷清掃奉仕活動」に継続的に参加させていただいています。また、全社活動でもある「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトでは、工場内での植樹会のほかに、沼津市が推進する「沼津の森づくり」の苗木を2010年から引き続き贈与させていただきました。2012年度からは生物多様性保全活動の取り組みとして、近隣河川である御殿川の支流、そして下流にあたる狩野川までの生物多様性調査を開始し、今後の環境保全活動に活かすべく、2013年度より本格的に活動を進めています。

また、従業員の環境意識の向上と環境知識をより深く理解するために、東京商工会議所主催のエコ検定試験(環境社会検定試験)も、第2回より継続して監督者、スタッフ職を中心に取り組み、現在までの延べ合格者数は84人となっています。

環境データ

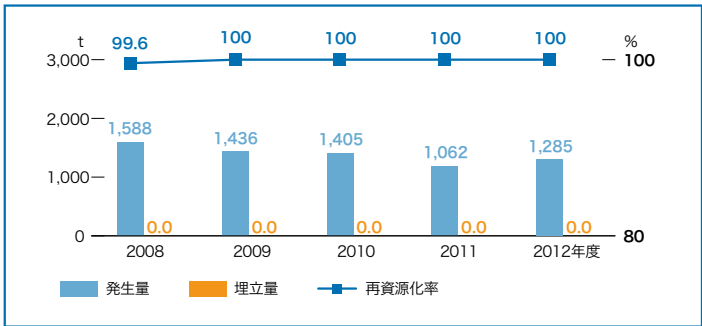
■温室効果ガス排出量の削減



※基準年: 1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF6は1995年としています。
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法: 環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

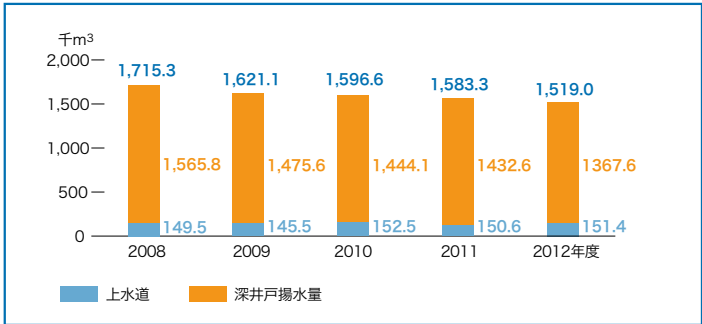
■資源の有効活用/廃棄物の削減

・廃棄物データ



・水使用量

工場用水として地下水を工場の使用量の9割を使用しています。残りは上水道です。



■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

工場で使用した工場用水は、工場内の処理施設で処理後、御殿川に放水しています。

項目	規制値	自主管理値	2012年度実績		
			平均値	最大値	最小値
PH	★5.8~8.6	6.2~8.2	7.6	7.9	7.3
BOD濃度 (mg/l)	15	4以下	1.1	2.6	0.5未満
COD濃度 (mg/l)	★120	5以下	1.4	2.8	0.9
SS濃度 (mg/l)	20	8以下	1.5	6.0	1.0未満
油分濃度 (mg/l)	2	1以下	1.0未満	1.0未満	1.0未満

※三島市環境保全協定、★は水質汚濁防止法に準拠 (BOD規制値は最大濃度)
 ※排水先 御殿川

・大気汚染物質 (NOx、SOx)

項目	NOx	SOx
排出量 (t/年)	19	—

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2012年度実績		
				平均値	最大値	最小値
三島工場 コージェネ レーション	窒素酸化物濃度 (ppm)	70	23	13	16	8
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.05	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満
三島工場 ボイラー	窒素酸化物濃度 (ppm)	130	59	49	56	41
	ばいじん濃度 (g/m ³ N)	0.1	0.0	0.001未満	0.001未満	0.001未満

※大気汚染防止法、三島市指導値に準拠

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

原材料・副資材・補助材など工場内で取り扱う化学物質は、MSDSで第1種指定化学物質の有無を確認し、PRTR法で定められた量の取扱い物質について年1回(6月)、国(県)への報告を行っています。

政令番号	対象化学物質	取扱量 ※1	排出量 ※2	移動量 ※3	安全性影響度評価 V-4			
					有害性ランク (人)	換算排出量 (人)	有害性ランク (生態系)	換算排出量 (生態系)
20	2-アミノエタノール	0.131	0.131		B	13.100	C	1.310
53	エチルベンゼン	0.286	0.286		C	2.860	C	2.860
80	キシレン	1.834	1.834		C	18.340	C	18.340
155	N-(シクロヘキシルテオ)フタルイミド	21.780	0.000	0.088	D	0.000	B	0.000
205	1,3-ジフェニルグアニジン	52.760	0.000	0.214	A	0.000	C	0.000
230	N-(1,3-ジメチルブチル)-N'-フェニル-パラ-フェニレンジ	504.080	0.000	2.039	D	0.000	B	0.000
258	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3,3,1,1(3,7)]デカン	19.656	0.000	0.076	C	0.000	D	0.000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	0.392	0.392		C	3.920	C	3.920
300	トルエン	1.340	1.340		C	13.400	D	1.340
333	ヒドラジン	0.109	0.109		A	109.000	B	10.900
372	N-(ターシャリブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	90.985	0.000	0.368	B	0.000	A	0.000
438	メチルナフタレン	0.787	0.004		記載なし	0.000	記載なし	0.000
総合計		694.140	4.096	2.785		160.620		38.670

1: 取扱量は1t以上を記載(ダイオキシン類を除く) ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5t以上を記載
 2: 排出量=大気+公共用水域+土壌
 3: 移動量=廃棄物+公共下水道

騒音、振動、臭気について

騒音: 毎月1回、工場敷地境界線11カ所で騒音測定を行い、基準値内(第4種地域規制および第4種地域と、2種地域が隣接する地域の規制)であることを確認しています。

臭気: 年1回の工場敷地境界での4地点について、臭気指数による測定を行い、基準値達成を確認しています。

消費者とのコミュニケーション

工場見学をしていただいたお客さまに、自動車産業品質マネジメントシステム規格 ISO/TS16949認証の取得をご紹介します。

また、製品納入先のお客さまからの問い合わせには、迅速に調査したうえで、報告を行っています。

人権・労働慣行

人権教育

全従業員に対して「コンプライアンス・カード」の配布による啓発と教育を実施しています。

また、全社マネジメント力強化の一環として、管理者として必要なハラスメ

ント防止の正しい知識を学ぶ目的で、組織管理職を筆頭に全職制向けにセミナーを開催。2012年度は、85人が参加しました。

取引先との信頼関係

取引先とのかかわり

協力会社で組織している「清流会」の皆さまに集まっていただき、2012年度は4月25日に第1回CSR勉強会を開催しました。

講師：資材調達部（平塚）、CSR・環境推進室

議題 ・昨今のCSR問題について

・最近の弊社CSR活動について（震災復興支援、生物多様性等）

ステークホルダーコミュニケーション

これまで寄せられた主な意見や苦情と対応内容

2012年度は、3月に工場近隣にお住まいの環境モニター様向けの工場見学会を開催いたしました。また工場増設にあたり、地域住民への事前説明会を8月に実施しました。

・工場周辺の清掃活動は、週1回実施しています。

（工場正門～三島二日町駅周辺と工場正門～従業員駐車場周辺）

・献血協力は年2回事業所内で実施しており、2012年度は101人が献血しました。

・沼津市が推進する「沼津の森づくり」の植樹活動に、シイ・カシ・タブ類の常緑広葉樹の苗木を2012年9月に321本を寄贈しました。

・2012年2月19日に開催された伊豆マラソンに、駐車場の貸出ならびに給水所の設置、交通整理などに協力しました。

地域社会とのかかわり

・三島地区環境保全推進協議会主催の清掃奉仕作業へ、2012年度は年2回実施し、延べ89人が参加しました。

・2012年度の事業所内にある体育館の貸出実績は812件あり、地域の皆さまに利用していただいています。

工場見学・説明会のご案内

2012年度は工場見学の受け入れ79件、延べ1,398人が三島工場へ来訪されました。地域の教育支援として、小学生の工場見学、中学生の職場体験学習、高校生のインターンシップなども受け入れています。

工場見学について

開催日 工場就業日 月曜日から金曜日まで
（年末年始、5月連休、8月連休を除く）

受付時間 8:00～16:00

問合せ先 三島工場業務課 TEL: 055-975-0800



コーポレートガバナンスとコンプライアンス

汚職に関する方針

全従業員に対して、「コンプライアンス・カード」の配布による啓発と教育を実施しています。また、基幹職、スタッフ職については、e-ラーニングによる講習を実施しています。